

PROPOSAL

(官公庁向け)若手職員研修 実践型ワークショップ「ドミノタウン」のご提案

■研修の目的

厳しい財政状況や人口減少が続く中、職員定数を厳格に管理しながら、児童虐待問題や高齢単独世帯の増加など、複雑化する課題に対応する必要があります。

そのため、既成概念やこれまで当たり前に行ってきた習慣に加え、新たな視点や発想から物事を見直し、常に問題意識をもって自ら進んで業務の改善に取り組む能力を身につけることを目的としています。

■業務内容

上記目的を踏まえた研修の企画及び実施。具体的には、採用3年目までの若手職員を対象に、「主体性を持つ職員育成」に重点を置いた能力開発を行う。併せて、常にスピード感をもって業務を遂行し、住民や上司・同僚の意見を傾聴する力を養うとともに、円滑なコミュニケーションを図りながら、自らの意見を論理的・建設的に説明できる能力開発を行う。

■対象者

採用1年目から3年目までの若手職員

■ 貴市職員の総合的な能力向上

本研修では以下の効果をねらいとします。

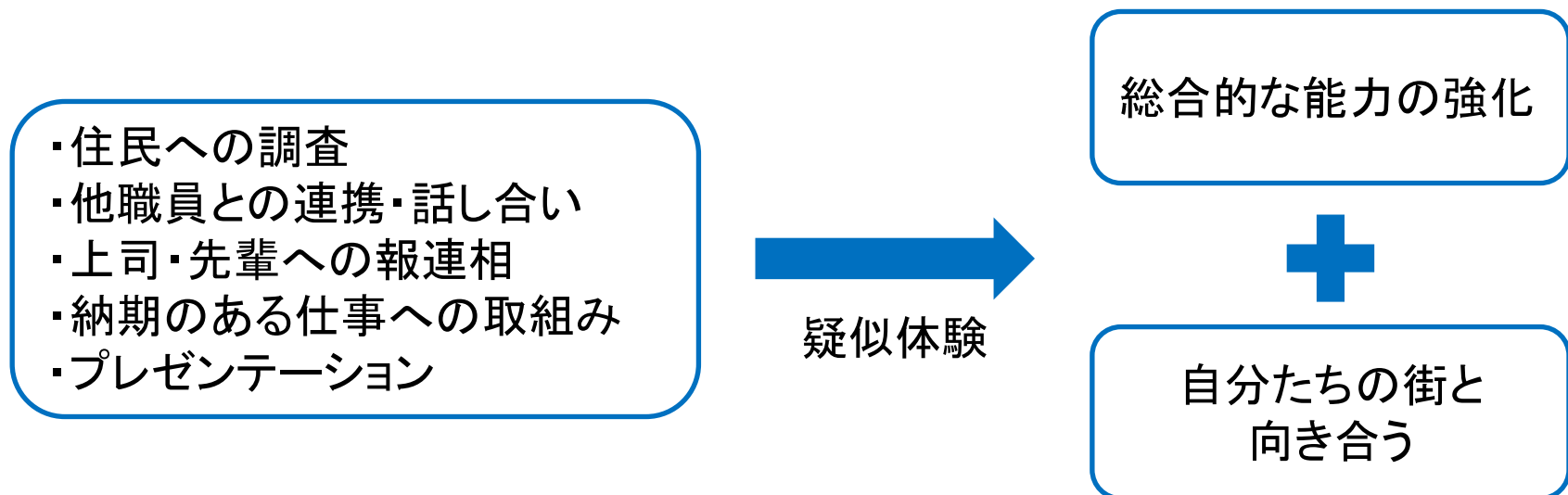
- ・新たな視点や発想から物事を見直す能力の向上
- ・常に問題意識をもって自ら業務の改善に取り組む能力の向上
- ・スピード感をもって業務を遂行する能力の向上
- ・市民や上司・同僚の意見を傾聴する能力の向上
- ・円滑なコミュニケーション能力の向上
- ・理論的・建設的に説明できる能力の向上

限られた時間の中で多岐に渡る能力を最大限習得するために

「座学型」ではなく、「体験型」研修を実施し、総合的な能力向上を目指します。

■ 住民を巻き込んだ街づくり体験 ～実践型ワークショップ『ドミノタウン』

受講者にはドミノを使って住民に住みやすいと思ってもらう街づくりをしていただきます。実際の業務を疑似体験しながら、本研修を進めていきますので、限られた能力・スキルの向上ではなく、貴市職員に求められる総合的な能力・スキルの向上が期待できます。さらに、本研修を通して受講者自身がどのようにしてより住みやすい街にするかを考えていただく機会にさせていただきます。



①

事前課題をとり受講者各々が住みたい街について考える

②

各々が出した意見をまとめ、グループごとに住みたい街を決める

③

隣のグループの住民がどのような街に住みたいかヒアリングを行う

④

ドミノを使って街づくりを行う

⑤

作った街のプレゼンテーション、投票、振り返り

事前課題をとり受講者各々が住みたい街について考える

0

- ・新たな視点や発想から物事を見直す能力
- ・常に問題意識をもって自ら業務の改善に取り組む能力

各々が出した意見をまとめ、グループごとに住みたい街を決める

1

- ・新たな視点や発想から物事を見直す能力
- ・上司・同僚の意見を傾聴する能力
- ・円滑なコミュニケーション能力

隣のグループがどのような街に住みたいかヒアリングを行う

2

- ・住民の意見を傾聴する能力
- ・円滑なコミュニケーション能力

ドミノを使って街づくりを行う

3

- ・新たな視点や発想から物事を見直す能力
- ・常にスピード感をもって業務を遂行する能力

プレゼンテーション、投票、振り返り

4

- ・論理的・建設的に説明できる能力

6. 『ドミノタウン』における工夫

0

①各グループ(A~H)で調査役2~3名、住民役2~3名を決める
②ご要望を聞き深めたい場合は、他グループの住民役と話し合っ時間帯を決めなければならない
⇒ **相手の都合を考えて行動するため、計画的にワークを進める必要があります**

1

■イメージ図1

A	↔	B
C	↔	D
E	↔	F
G	↔	H

■イメージ図2

A	↔	B
---	---	---

・調査役2~3名
・住民役2~3名

・調査役2~3名
・住民役2~3名

2 隣のグループがどのような街に住みたいかヒアリングを行う

3 ドミノを使って街づくりを行う

4

①講師は受講者の上司として振る舞う
②受講者が上司に相談する場合は、
何時に相談するかホワイトボードに記入しなければならない
※上司に相談できる時間は最大5分とする
⇒ **常に上司に相談できる時間が取れない状況を作り、
実務に近い形でワークを行うことができます**

■イメージ図

ホワイトボード
Aグループ 13:00~
Bグループ 13:30~
Cグループ 14:00~
Dグループ 14:30~
...

■実践型ワークショップ『ドミノタウン』

内容

1. 貴市職員に求められるもの

2. チームにおける後輩・同僚とのコミュニケーション

(1) コミュニケーションにおけるひと工夫

- ① 相手を意識して名前と呼ぶ
- ② 挨拶
- ③ 職場に目を向けて観察する
- ④ 笑顔
- ⑤ 何気ないことも口に出して表現

(2) 思いを相手に伝える

(3) 相手に動いてもらうコミュニケーション

3. チームにおける上司・先輩とのコミュニケーション

(1) 上司と接する目的

(2) 適切な「ホウ・レン・ソウ」がもたらすメリット

(3) リスクマネジメントとしての「ホウ・レン・ソウ」

(4) 「報告」における8つのポイント

4. 実践！ドミノタウン

(1) ルール説明

(2) 役割分担

(3) 調査

(4) 上司への相談

(5) プレゼンテーション

(6) 投票

(7) 振り返り

■設定

あなたはドミノタウンに勤務する職員です。

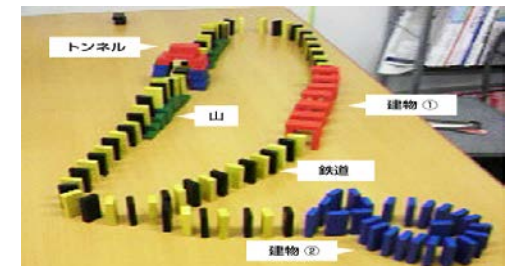
課長から「ドミノタウンをより良い街にしたい。住民の声を聴いた上でより良いドミノタウンを提案してプレゼンしてくれないか」と頼まれました。後に本プロジェクトを進めるための特別チームが発足され、他の職員と協力して行うこととなりました。

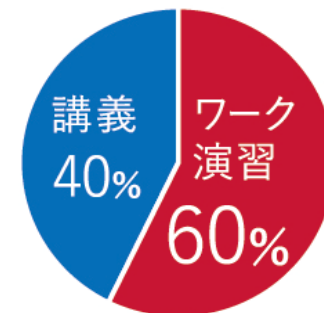
あなたが所属するチームの他にもいくつかチームが存在し、同じように提案のために動き出しています。住民への聞き込み調査、チームでの話し合い、上司への報連相、プレゼンテーションを経て自チームの提案が採用されることを目指します。

【参考】チームに貢献するために大切なこと

- (1) メンバー全員が納得する明確な目的・目標を共有する
- (2) 自分の担当する仕事をやり遂げることが前提
- (3) チームワークが発揮される段階
- (4) チームワークを発揮するコミュニケーション
- (5) チームに貢献するために自分の役割を考える

5. まとめ





インソースは、「研修で学んだことを、翌日から職場で実践できる」を目指しています。

そのためにも、講師からの一方的な講義ではなく、グループワークやケーススタディで受講者の皆さま自身に考えていただき、気づきを共有していただき、またロールプレイで模擬体験していただくことを優先した構成となっています。

研修の構成比も「講義は4割以下、演習・ワークは6割以上」を徹底しています。

研修（講師派遣）実施までの流れ

1 研修内容の確定

日時・場所・人数・背景・研修プログラムなど

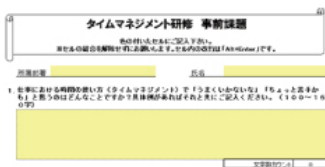
まずはお気軽にお問合せください。ご希望の時期やプログラムなどをもとにご提案させていただきます。



2 事前課題(アンケート)実施

受講者の悩み相談シート

より高い満足を得ていただくため、受講者の皆さまに研修の事前課題(アンケート)を実施いたします。



3 事前課題(アンケート)回収・分析

受講者さまの状況把握をはじめ、講師の準備、ケース作成などに活用します。



4 テキスト作成・講師確定

事前課題(アンケート)を踏まえ、テキストを完成させます。また、内容に適した講師のスケジュールを確定し、インソース内での打ち合わせを開始します。



5 印刷テキストのご送付

当日、必要なテキストをお送りいたします。テキストのみの販売も行っています。社内講師の皆さまにご好評です！



6 研修実施

研修後、事後アンケート実施

講師は原則、テキストとホワイトボードを用いて研修を進めてまいります。研修の最後に、受講者の皆さまに、満足度・理解度を図るアンケートにご協力いただきます。



7 事後アンケート集計と講師報告書のご送付

事後アンケートを回収・集計し、講師報告書とともにまとめます。あわせて次の研修のご提案もさせていただきます。



8 研修後「呼びさまシステム」による研修実施後フォロー

研修で学んだこと、効果を定着化させるサービスもご用意しています。

呼び覚まシステム

